

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 6月 15日

【評価実施概要】

事業所番号	2970101412
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア法蓮
所在地	奈良県奈良市法蓮町528-1 (電 話) 0742-23-0143
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 21年 6月 9日

【情報提供票より】(21年 5月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	10 人
利用定員数計	9 人
常勤	4 人
非常勤	6 人
常勤換算	5.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	平屋 建て

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,500 円	その他の経費(月額)	18,350 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	200 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(5月11日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 84.6 歳	最低	68 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岡谷病院・新大宮診療所・上林歯科医院ほか
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、緑が多く、また、在原業平ゆかりの名刹「不退寺」の近くの住宅地の中の既存住宅を改装(一部増築)し事業開始されています。ホーム内はあまり広くはありませんが、襖等がはめ込まれ温もりが感じられます。入居者は、特技や趣味を活かしながら一人ひとりのリズムで穏やかに生活されています。職員も個の尊厳重視を基本に支援されています。なお、看護師の配置や24時間の医師の確保があり、医療体制が整えられています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	サービスの自己評価への職員の参画での実施や運営推進会議での意見の具現化或いは、馴染みながらのサービスの利用開始等に改善・取り組みがなされています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービスの自己評価する意義・目的を正しく理解され、多くの職員の参画の下に実施され、解決すべき課題等の掌握と改善に活かす機会とされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議は定期的開催され、入居者の状況や提供されるサービスの内容等の報告と共に、運営上の課題や改善への取り組み等について意見交換がなされています。開陳された意見等は記録され、運営に活かす取り組みもなされています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	運営推進会議の場の活用と、家族等の訪問時に不安に感じられている事や意見・要望等を積極的に聞きだす取り組みがなされ、寄せられた意見等は会議に諮り必要な事項は運営に反映させる事とされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会への加入や清掃活動にも参加され、地域との関わりが広がりますが、日常生活には希薄感があります。ホームとして地域との積極的な交流を目指されていますので、実現を期待します。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な環境の下で、人格を尊重し入居者の立場にたって適切なサービスを提供する」とする理念が作られています。		地域密着型サービスに制度改正された事により、地域住民との交流がより重視されています。この視点を反映した理念の作成が望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のカンファレンス等で、理念の共有化と実践に活かす話し合いがなされています。また、簡潔な表現による理念が見やすい場所に掲出されています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会への加入や清掃活動にも参加し、地域との関わりに拡がりが見られますが、日常生活には希薄感があります。		ホームとして、町内会行事等を通じ積極的な交流を目指されていますので、実現を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、自己評価には多くの職員の参画の下に実施され、解決すべき課題の掌握等に活かす機会とされています。また、外部評価の結果を周知され改善に活かす取り組みがなされています。		外部評価結果を運営に活かす取り組みが見られますが、活かし切れていない部分も見受けられますので、課題の解決への取り組みを期待します。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、家族、自治会の役員、行政職員の参加の下、定期的開催され、入居者の状況や提供しているサービスの内容等の報告とともに、運営上の課題や改善への取り組み等について意見交換がなされています。開陳された意見等は記録し運営に活かす事とされています。		行政職員の参加が得られない時が見られますが、行政は保険者としてはもちろん、市民福祉を推進する立場として、事業の推進において大変重要な存在ですから、積極的に参加してもらえよう働きかけることが期待されます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	各種の相談や情報交換等で頻りに訪問され、連携に努められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行の「ホームだより」に行事の写真を添付し暮らしの様子を伝えられています。また、家族の訪問時に、生活や健康状態等について報告がなされると共に体調等に変化が見られる時には、その都度報告する事とされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の場の活用と、家族の訪問時等に、職員が積極的に不安の感じられている事や意見・要望等を聞きだす取り組みがなされています。寄せられた意見等は記録され、会議に諮り必要な事項は運営に反映することとされています。		苦情・相談のホーム内担当者を契約時に説明されていますが、重要事項説明書等に明確な記載がありませんので、家族等が気軽に相談等ができるよう、この記載が望まれます。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者の混乱やダメージを最小限に止めるため、職員の異動時等には紹介はもとより、しっかりした引継ぎと他の職員のサポートが行われています。		管理者等の交代が多いようですが、入居者にとっては馴染みの関係が大切ですから、異動や離職を最小限に抑える努力が期待されます。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の代表者は職員の育成に熱意があり、法人内の計画的な研修の実施や必要に応じた外部研修の機会の確保が図られています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のネットワークがあり、これへの参加による交流が持たれ質の向上への取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居は本人の納得を基本とされ、見学時には他の入居者や職員との会話を楽しむ時間を設け、全体の雰囲気馴染める環境を作り、安定した移行に努められています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一人ひとりの特技や経験を活かし、思いを共感しながら共に生活している事を念頭に支援されています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの生活歴の把握と暮らしの中の言動等の観察・掌握に努め介護計画に活かされています。困難な場合は、家族や関係者からの情報を得て、本人本位に検討されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、本人のよりよい暮らしの維持・継続に資するためのものであることから、家族や関係者が相談・検討し作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画期間を3ヶ月とされていますが、身体的に変化が見られる時や定期的に行われるカンファレンスで生活面に変化がある時は、随時に見直しがなされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医の受診や買い物・一時帰宅時の送迎等家族の状況を勘案され柔軟な支援が図られています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関が確保されていますが、本人の希望を優先した支援がなされています。その際には、暮らしの状態等について情報提供され、受診機関との連携が図られています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期への対応指針が作成されており、入居時に説明されると共に、状態の変化時にはその都度家族と相談することとされています。なお、24時間医療機関との連携体制が整備されており、職員への周知・浸透が図られています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個の尊厳を支援の柱の一つである事を職員は常に念頭に、一人ひとりに合わせた言動を心がけ接しられています。なお、個人情報に関わる書類等は、決められた場所で管理・保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れの設定がありますが、本人の状態を勘案しながら、希望・意向を優先した支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に合わせて食事の準備や後片付け等に協働され、楽しく食事が出来る雰囲気づくりに努められています。		入居者の食事支援を優先されていることから、職員も同席されていますが同じ食事が摂られていません。同じ物を一緒に摂る意義についての再考を期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定がありますが、本人の希望やペースに合わせた支援がなされています。なお、毎日の入浴支援への体制もあります。		入居者一人ひとりの習慣や希望に沿った支援を行うため、夜間の入浴支援体制への検討を期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	喜びある日々を過ごせるように、生活歴等を参考に特技を生かせる場面や役割の付与・趣味の実践等への取り組みがなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺散歩の日常化と買い物等外出機会の確保が図られています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害は認識されていますが、安全確保を優先されている状況にあります。		開錠することへの検討がなされていますが実現する迄には至っていませんので、実現を期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的には消火・避難訓練が実施されており、地元自治会代表者もメンバーである運営推進会議でも応援要請がなされています。なお、法人内の応援体制の整備はなされています。		地元住民への応援・協力要請がなされていますが、十分理解・浸透を得るまでに至っていないと思料いたしますので、一層の働き掛けを期待します。また、災害時の非常物品等の備蓄についても検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分の補給状況は詳細に記録されており、栄養バランスについても、配食業者の献立表をチェックされ偏りのないよう注意されています。なお、摂取能力に応じた調理への工夫もなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はあまり広くはありませんが、清掃が行き届き異臭等は感じられません。また、季節感を出すため、入居者の手作りによる作品が掲げられ潤いが感じられます。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具等が持ち込まれ、写真や気に入った絵を飾るなど、個々の入居者が安心して暮らせる居室となっています。		